

## 【配送センターにおける AR ユーザーインターフェイス】 Amazon

### ①要約：

このアイデアは、倉庫内での業務効率を向上させるために AR を活用して作業者に作業指示を提供するシステムです。QR コードやバーコードを読み取り、作業者に対して正確な情報を表示することで、ピッキングや梱包作業を効率化します。

### ②目的：

自社倉庫内の業務プロセスを効率的に管理し、作業者に対して正確な指示を提供することで作業の精度を向上させることを目的としています。このシステムを利用することで倉庫内の作業効率が向上し、配送業務の流れをスムーズにすることが期待されています。

### ③新規性：

このアイデアは、倉庫内での作業効率を向上させるために AR 技術を活用したものであり、作業者に対して正確な位置情報や作業指示を提供することで、従来の作業方法とは異なる新しいアプローチを取っています。

### ④独自性：

このシステムは、倉庫内での作業プロセスを効率的に管理するために独自に開発されたものであり、AR 技術を活用した作業支援システムは他社にもまだあまり普及していないため、独自性が高いと言えます。

### ⑤経済価値：

このアイデアは、倉庫内の作業プロセスを効率化することで、作業者の作業時間を短縮し、作業の精度を向上させることができます。これにより、業務コストの削減や顧客への迅速な配送が可能となり、経済的な価値を提供することができます。また、特許を取得することで競争力強化や事業拡大の機会も得られるでしょう。